



學 穩

(ほがく)

令和7年度 広州日本人学校

学校だより No.10

令和7年12月23日

発行責任者 校長 大久 耕

~ 2025年 広州日本人学校は 開校30周年です ~

良いお年をお迎えください



12月19日 中学部3年生「餅つき」

今年は、12月に入ってからも暖かく、穏やかな日が続いております。インフルエンザの流行も収まり、落ち着いた状態で冬休みを迎えることに一安心しております。

早いもので、令和7年も残りわずかとなりました。8月19日にスタートした第2学期は、開校30周年記念式典に始まり、宿泊学習や運動会、校外学習など大小さまざまな行事がありました。子供たちはそれらの活動一つ一つをとおして、少しづつ成長を積み重ねてまいりました。

本日お渡しいたしました通知表「あゆみ」には、子供たちの成長の軌跡が記されております。お子様と一緒に目を通されて、次のステップに向けて話し合う時間をとつていいただけますと幸いです。

中学部1年生 深圳宿泊学習(11月27日~28日)

11月27日(木)、28日(金)の2日間、中学部1年生が宿泊学習で深圳市を訪問しました。本校の校外学習では、訪問先の見学にとどまらず、そこで働く人たちとふれ合い、生き方や考え方を学ぶことを大切にしています。

今回の宿泊学習では、まず深圳日本人学校を訪問し、同じ中国・広東省で学ぶ中学生との交流会を行いました。お互いのものの見方や感じ方、中国生活での思いなどを交わし合い、親交を深めました。

また、企業訪問ではBTET(比亚迪丰田电动车科技有限公司)やドローンのDJI(大疆创新科技有限公司)の見学を行い、最先端技術の開発にあたる人たちの心構えを学びました。

2日間の活動をとおして、技術開発、勤労の意義、国際理解、友情など、これからを生きていくうえで大切な多くの事柄に触れ、大きく成長する機会となりました。



中3を送る会(12月3日)

先日、多くの中3生が受験のため一時帰国する前に、一足早い「中3を送る会」が開催されました。ゲームに始まり、思い出の映像やダンスなどを交えながら、中学部生徒全員で思い出に残るひと時を過ごしました。



通学安全レベルと郊外での活動について

昨今の情勢を踏まえて、2学期に予定していたいくつかの活動について、変更や中止の決定をいたしました。子供たちも、学校内では経験できない内容をとても楽しみにしておりましたが、安全確保は最優先事項であるため、ご理解をお願いいたします。

現状としては、学校内や日本企業訪問など限られた空間内での活動は、通常通り実施しております。一方、公園など不特定多数の人が出入りする空間での活動は、実施を見送っております。

1月も「レベル1」を継続いたします。ご理解とご協力をお願いします。

送迎、引き渡し等に関する基準				
	レベル0 (通常時)	レベル1 (注意が必要と判断される場合)	レベル2 (十分な注意が必要で教職員の配置が必要)	レベル3 (相当な注意が必要でバスの運行が難しい場合など)
登校(小)	保護者同伴	保護者同伴	保護者同伴 教員乗車	休校
登校(中)				
下校(小)	保護者迎え	保護者迎え	保護者引き渡し (教員乗車)	学校留置き (保護者迎え)
下校(中)	迎え不要	保護者迎え◆		
備考		◆バス停ごとの対応可	原則、親族に限定	

※ 警備員のバス乗車（配備）後

通学安全委員会

校長日記～広州日本人学校を去りゆく友へ～

学期末がやってきました。また多くの友が、本校から各地へと飛び立っていきます。

広州日本人学校で過ごす皆さんには、学期末ごとに涙を流し、友を見送ります。そして多くの人は、やがて自分も見送られる側になっていきます。入学した人数よりも、卒業する人数よりも、退学する人数がはるかに多い学校です。過ごす時間も決して長いとは言えません。でも、ここで出会った友は、過ごした時間は、これから先、きっと心に残り、苦しいとき、辛いときに皆さんを支え、生きていくための糧となっていくと信じています。

いつかまた、皆さんの母校・広州日本人学校を訪ねてきてください。これからも活躍に期待しています。

